

令和元年度島根県立出雲高等学校第71回卒業証書授与式 校長式辞

ただ今、卒業証書を授与しました三〇八名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。保護者の皆様おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。学校行事の中でも最も重要な卒業式を在校生が参列できない状況で行うこと、また簡素な式次第で行わざるを得ないことを残念に、また申し訳なく思っています。在校生は昨日、熱心に式の準備をしてくれました。在校生がいない分、保護者の皆様と私たち教職員とで卒業生の門出を祝いたいと考えていますので、どうかご理解下さい。

さて、皆さんがこれから出でていく社会では、世界のどこかで起こった出来事が、私たちの生活に、いい意味でも悪い意味でも、また多かれ少なかれ、何らかの影響を及ぼすようになってきています。具体的には敢えて述べませんが、国内外には様々な課題が山積しています。このような状況の中、我が国が将来にわたり平和で、一人一人の豊かな人生を実現するために、これから社会を支えていく君たち若者にかけられる期待は大きいものがあります。しかし実際のところは、今、現実に社会を支えている私たち大人が果たさなければならない責任の方が喫緊の問題です。大人が伝えること、行っていることなど社会の在り方を受け止めつつも、批判的に考えて、自分の生き方について、また社会の在り方について、少しずつ考えて行動していく必要があるでしょう。

これからの時代は、人と人との繋がりや、人と自然との調和が一層求められます。皆さんには、生まれ育ったふるさとや国を愛し、他人を尊重し、自己を確立したうえで、国や民族の価値観の違いを越えた地球的な視野を持つことが必要です。そして、真心と、協力して事を成すという姿勢を基に、困難な局面であっても希望を持ち、行動して欲しいと願っています。

本校の基本理念は、久徴の精神を育成することです。三年間の高校生活は、自主自立を達成するための基礎づくりの期間であり、自己実現に向けて、日々の生活に誠実・勤勉に取り組み、自己を発見し、理解し、そして成長させるための期間でした。君たち七十一期生は、仲間と励まし合いながら、これらのこと懸命に取り組んでくれました。素晴らしい生徒達です。これからも、きっと一人ひとりが自分らしく、一歩ずつそれぞれが目指す途に向かって挑戦を続けていくことと信じています。

結びに、卒業という人生の節目となる今日、皆さんを支えてくださった保護者をはじめとする方々への感謝の気持ちを忘れることなく、また、ふるさとしまねへの想いを胸に、未来に羽ばたいていってください。本校のスローガンである「自立、協働、挑戦」を卒業生の皆さんに、錢の言葉として贈り、皆さんのご健康とご活躍を祈念して、式辞と致します。

令和二年三月三日

島根県立出雲高等学校 校長 真玉保浩

1年生と2年生へ

明日から2日間は高校入試に係る休業日、また週末の土曜日と日曜日も部活動は行いませんので登校はできません。日本中のほとんどの小中学校、高等学校では春休みまでの臨時休業日となっています。学校での授業が始まるまでの期間をどのように過ごすかが大変重要です。

日本中が非常事態とも言える状況の中、新型肺炎ウイルス感染防止には万全を尽くして下さい。また不要不急の外出は控えるなど、生活面での注意事項を守って下さい。この機会に、家庭での学習習慣を身につけるように努力しましょう。1年間の復習を中心に振り返りを行うことを強く勧めます。そのために必要な教材は本日のところでできるだけ自宅に持ち帰って下さい。月曜まで学校に入ることはできません。復習する習慣が身についているかどうかが、今後の学習成果に大きな影響を与えます。特に君たちが受験する予定の大学入学共通テストでは、すべての教科で読解力が要求されます。自立した学習者として、自らの学習面での到達目標を明らかにし、学習計画を立て、必要に応じて計画を修正しながら、目標の達成に向けて努力することを願っています。また、読書など、普段の生活の中で時間を割きにくいことにも積極的に取り組んでみて下さい。家族の一員としての役割を果たすのもいいでしょう。

今後、臨時休業とするなど緊急の連絡は、緊急メールとホームページで行います。以上